1

2

3

4

5

金沢泉鏡花フェスティバル2017プレイベント　～100年目の「天守物語」～

天守物語

Kanazawa—Kyoka Izumi Festival 2017 Pre-event “The Castle Tower”

泉鏡花3大戯曲中、最高傑作と謳われる「天守物語」。発表100周年に当たる2017年、当舞台は「金沢泉鏡花フェスティバル2017」のプレイベントとして、金沢能楽美術館との共同主催で行った。

下掛宝生流能楽師である安田登氏による演出は、能をベースに人形遣い、語り、朗読、狂言、ヒップポップダンス等々、様々な芸能をコラボレートしたものであり、その道のプロフェッショナルである各出演者に多くを委ねた、一種ジャムセッションの趣であった。

また関連企画として、禿（かむろ）・妖怪役の公募ワークショップも行なったほか、当舞台のイメージイラストを担当した、金沢在住の少女漫画家波津彬子氏による鏡花3大戯曲作品集「鏡花夢幻」の原画展を茶室「松涛庵」で開催した。

（岩崎宗市）

Among author IZUMI Kyoka’s three emblematic plays, “The Castle Tower” is extolled as his masterpiece. In 2017, the centennial year of the work’s publication, this performance was presented as a pre-event of “Kanazawa—Kyoka Izumi Festival 2017” in conjunction with Kanazawa Noh Museum.

Directed by YASUDA Noboru, a Noh teacher of the Shimogakari Hosho-ryu school, the performance was a collaboration of many arts: puppeteering, storytelling, recitation, kyogen, and hip hop dance. The result was a kind of jam session involving directors specialized in each of these fields.

As related events, a public workshop for recruiting “Kamuro” (a girl who takes care of mistress) and goblin actors was held and an exhibition of original drawings for “Kyoka Mugen” (Visions of Kyoka, an Izumi Kyoka three emblematic play collection) created by HATSU Akiko—a Japanese manga artist and Kanazawa resident—was presented at Shoutouan tea house.

(IWASAKI Soichi)

1–3. 「天守物語」公演風景
4. 「天守物語」関連プログラム
特別展示「鏡花夢幻」原画展　展示風景
5. 「天守物語」描き下ろしイメージイラスト（波津彬子）

1–3. “The Castle Tower” performance scenes
4. Original drawings for “Kyoka Mugen” installation view (related program of “The Castle Tower”)
5. “The Castle Tower” newly-made image illustration by HATSU Akiko

1–3. Photo: IKEDA Hiraku
5. ©HATSU Akiko

金沢泉鏡花フェスティバル2017 プレイベント　～100年目の「天守物語」～
天守物語

Kanazawa—Kyoka Izumi Festival Pre-event “The Castle Tower”

2017年10月8日（日）19:00開演
2017年10月9日（月・祝）13:30開演

会場：シアター 21
料金：前売 2,700円／当日 3,000円

主催：
金沢21世紀美術館［公益財団法人金沢芸術創造財団］
金沢能楽美術館［公益財団法人金沢芸術創造財団］
助成：平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
協力：小坂獅子舞保存会
後援：北國新聞社、北陸放送、石川テレビ放送、
テレビ金沢、エフエム石川

原作：泉 鏡花「天守物語」
脚色・演出・出演：安田 登
出演者：百鬼ゆめひな（人形師）、
奥津健太郎（能楽師狂言方）、笹目美熙（子方）、
東 雅夫（文藝評論家）、玉川奈々福（浪曲師）、
Nadiah（ダンサー）、JUNKO☆（ダンサー／実験道場）、
蛇澤多計彦（ダンサー／実験道場）、
我妻良樹（ダンサー／実験道場）、
城ノ脇隆太（ダンサー／実験道場）、
蛇澤圭佑（ダンサー／実験道場）、
平田雅大（ダンサー／実験道場）、
COCO☆（ダンサー）、UPA（ダンサー）、
KO-CHU（ダンサー）、ヲノサトル（音楽家）
上野賢治（フルート）、森山雅之（太鼓）、
コロスの皆さん、禿・妖怪の子どもたち（公募）

舞台監督：合田義弘
舞台・照明：（株）金沢舞台
音響：城下 寛

入場者数：8日108名、9日107 名

広報件数：10件

関連企画：ワークショップ
「集まれ!禿と妖怪の子供たち」

日程：2017年7月23日（日）、8月5日（土）、
8月19日（土）、9月2日（土）、9月16日（土）、
9月21日（木）、10月7日（土）
会場：金沢能楽美術館 3階 研修室、シアター 21
参加：小中学生14名

金沢ナイトミュージアム2017
朗読会「能楽師×浪曲師による泉鏡花『天守物語』」

日時：2017年8月5日（土）18:30開演
会場：金沢能楽美術館
出演：安田 登（能楽師）、玉川奈々福（浪曲師）
映像：モリ川ヒロトー
料金：無料（能楽美術館入館料が必要）
入場者数：84名

鼎談「愛か、お化けか!?　能楽師×少女漫画家×アンソロジストが語る『天守物語』」

日時：2017年9月2日（土）18:30開演
会場：金沢能楽美術館
出演：安田 登（能楽師）、波津彬子（少女漫画家）、
東 雅夫（アンソロジスト）
料金：無料（能楽美術館入館料が必要）
入場者数：74名

特別展示「鏡花夢幻」原画展
～波津彬子が描く泉鏡花の世界～

日時：2017年9月30日（土）–10月9日（月・祝）
会場：松涛庵（茶室）
料金：無料
後援：北國新聞社、北陸放送、テレビ金沢、
石川テレビ放送、エフエム石川
入場者数：1,747名

刊行物：
『特別展示「鏡花夢幻」原画展
波津彬子が描く泉鏡花の世界』
金沢21世紀美術館
2017年
21×14.8 cm、14p.（ポストカード付）
500円（税込）

2017.10.8 (Sun.) 19:00
2017.10.9 (Mon.) 13:30

Venue: Theater 21
Ticket Price: Adult ¥3,000/Pre-ticket ¥2,700

Organized by:
21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa (Kanazawa Art Promotion and Development Foundation)
Kanazawa Noh Museum (Kanazawa Art Promotion and Development Foundation)

Grants from:
The Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2017

In Cooporation with:
Kosaka Shishimai Hozonkai

Supported by:
Hokkoku Shimbun,
Hokuriku Broadcasting Co., Ltd.,
Ishikawa TV, Television Kanazawa Corporation,
FM Ishikawa

Number of audience: 108 (Oct 8), 107 (Oct 9)

Publicity: 10